



「住みたい」「訪れたい」「活動したい」まちとして発展し続けるために—2014年度予算の概要

問 財政課 ☎724・2149 FAX 050・3085・5303

予算は、市民の皆さんに納めていただいた税金などの収入を生かして、町田市がどのような事業を行っていくかを表すものです。市内、市外を問わず多くの方から「住みたい」、「訪れたい」、「活動したい」と思っていただけるようなまちを目指し、2014年度にどのような事業やサービスを行うのか、予算の概要をお知らせします。

2014年度予算は2月に市長選挙が行われたことから、当初予算は、経常的な事業を中心に編成し、6月補正予算では、市長の3期目の政策的事業に係る予算を中心に編成しました。当初予算と6月補正予算を合わせた総額が、2014年度の年間総合予算となります。

2014年度予算は、町田市基本計画である「まちだ未来づくりプラン」に定めた5つの「未来づくりプロジェクト」(3面参照)を着実に推進するとともに、4つの「まちづくり基本目標」の実現を目指す施策を中心に編成しました。

主な事業と予算額は、2・3面でご紹介します。

4つの「まちづくり基本目標」

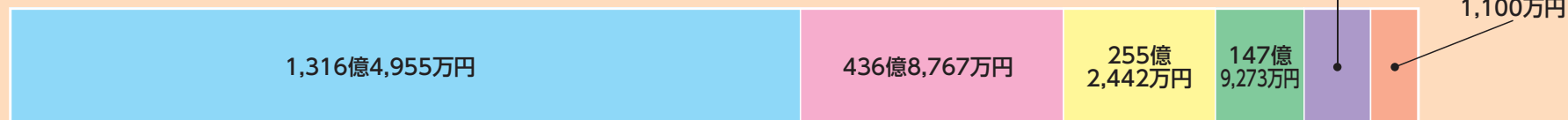
- I 将来を担う人が育つまちをつくる
- II 安心して生活できるまちをつくる
- III 賑わいのあるまちをつくる
- IV 暮らしやすいまちをつくる



2014年度予算の全体像

市の行政サービスの大部分を経理するお財布(一般会計)のほかに、特定の目的を持った事業の収支を切り分けて経理するお財布(特別会計)が5つあります。特別会計の病院事業会計の予算額は、地方公営企業会計制度の改正及び病院情報システムの更改に伴い増加しました。

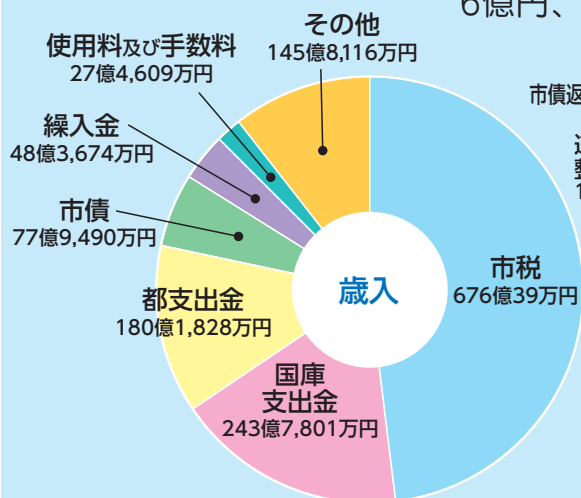
【2013年度年間総合予算=2013年度当初予算】



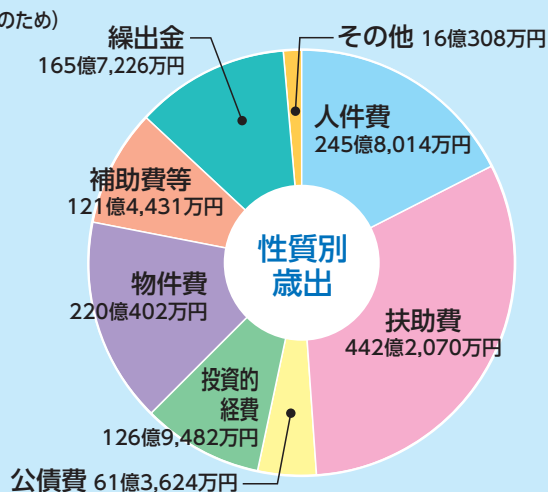
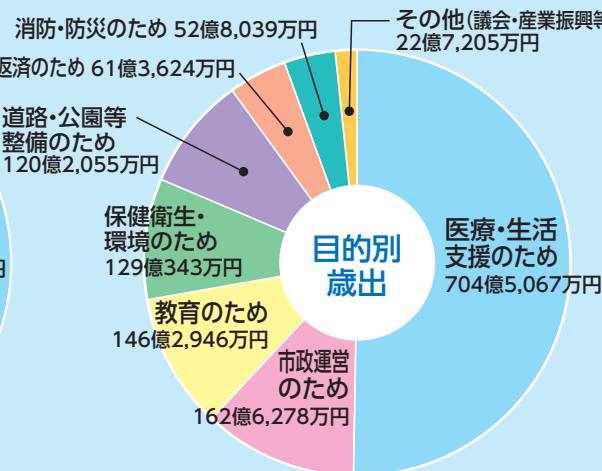
【2014年度年間総合予算=2014年度当初予算+6月補正予算】

総額 **2,505億6,809万円** (対前年度比+6.8%)

一般会計の年間歳入歳出予算



歳出では、選挙事務費やスポーツ祭東京2013開催事業費などの減少があったものの、臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の新設により、15億4,000万円増加したことに加え、鶴川第一小学校改築事業費が10億8,000万円、忠生市民センター建替事業費が6億円、それぞれ増加したことなどにより、対前年度比6.3%の増加となりました。

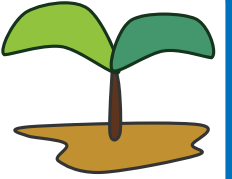


2014年度の主な事業と予算額

「住みたい」「訪れたい」「活動したい」まちとして発展し続けるために

I 将来を担う人が育つまちをつくる

保育環境の整備や教育環境の充実に取り組むとともに、子どもの活動拠点の充実や学びの拠点づくりに取り組みます。



地域における子育て相談充実事業

在宅子育て家庭を対象に、近所の保育園で相談や子育て情報を得られる仕組みづくり
2億1,425万円

(仮称) 忠生図書館整備事業

2015年5月開館予定

(仮称) 忠生図書館(忠生市民センター内)の開館に向けた書架及び図書の購入
2億1,306万円

待機児童解消対策事業

民間保育所や認定こども園の整備を支援
11億959万円

子どもセンター整備事業

2016年度開館予定

(仮称) 町田地区子どもセンターの整備
(仮称) 小山地区子どもクラブの整備
2015年度開館予定
3億882万円

学童保育クラブ整備事業

小山中央学童保育クラブの増築
野津田学童保育クラブの新築
(仮称) 山崎学童保育クラブの移設
2015年1月開館予定
2億6,231万円

冒険遊び場補助事業

2015年4月開館予定

冒険遊び場事業の補助制度の拡充
478万円

鶴川第一小学校改築事業

2016年4月から使用予定

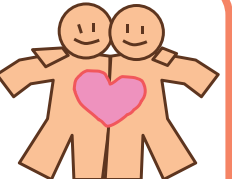
鶴川第一小学校の改築工事
11億4,484万円

小学校トイレ改修事業

山崎小学校、鶴川第三小学校、鶴川第四小学校のトイレ改修工事の設計
1,590万円

II 安心して生活できるまちをつくる

地域で住民相互の助け合いの関係を築くための環境づくりに取り組むとともに、高齢者が地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり、減災対策に取り組めます。



市民協働・地区協議会支援事業

地域の協議組織「地区協議会」の設立を支援
370万円

地域高齢者支援事業

認知症高齢者の早期診断・早期対応を支援
1億1,097万円

忠生市民センター建替事業

2015年2月開館予定

図書館や乳幼児健診の機能を備えた地域の活動拠点を整備
10億2,765万円

コミュニティセンター建替事業

玉川学園コミュニティセンターの建替基本計画を策定
成瀬コミュニティセンターの建替
2億7,306万円

消えないまちだ君(災害・停電時LED街路灯)整備促進事業

停電時に自動点灯する街路灯「消えないまちだ君」の整備
5,339万円

緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業

「緊急輸送道路」沿道の建築物の耐震化を促進
1億6,890万円

住宅耐震促進事業

木造住宅や分譲マンションの耐震診断等を支援
2億1,418万円

污水管きよ地震対策事業

污水管の耐震化
避難施設にマンホールトイレシステムを整備
2億7,040万円

雨水管きよ整備事業

浸水被害を軽減するため、雨水管を整備
4億4,430万円

防災行政無線デジタル化事業

既存の防災行政無線のデジタル化
子局の更新などによる防災行政無線の再構築
3億132万円

小・中学校防災機能強化事業

小学校体育館・非構造部材の補強工事の設計ほか
9,659万円

III 賑わいのあるまちをつくる

活気ある商業空間づくりや自然、スポーツに親しめる環境づくり等に取り組み、まちの魅力の向上・発信に取り組めます。



創業支援・企業誘致推進事業

地域中小企業者への支援及び企業誘致の推進
4,447万円

中心市街地整備事業

町田駅周辺の魅力向上に向けた中心市街地の整備を検討
4,128万円

文化芸術ホール整備事業

新たな公共ホールのあり方について、座談会を実施
690万円

みどりのまちづくり推進事業

(仮称) アグリパークの整備を検討
薬師池周辺地域のサインを設置
3,764万円

オリンピックキャンプ地等招致事業

「2020年東京オリンピック・パラリンピック」等のキャンプ地、「ラグビーワールドカップ2019」世界大会の招致に向けた情報収集ほか
869万円

にぎわい空間創出推進事業

市庁舎跡地の芝生広場「町田シバヒロ」でイベント開催、一般開放により新たなにぎわいを創出
※2014年5月にオープンしました。
4,634万円

まちだ自慢推進事業

市の魅力を明確化し、市内外に効果的かつ戦略的に情報を発信
5,110万円

野津田公園整備事業

第二次野津田公園整備基本計画に基づき、拡張用地確保に向けた測量
3,865万円

地域学校開放推進事業

地域スポーツクラブの拠点となるクラブハウスを整備
1億333万円

IV暮らしやすいまちをつくる

団地再生推進事業

団地とその周辺地域の特性や魅力に応じた、「団地再生」を検討
631万円

公園整備事業

薬師池西公園周辺の公園や緑地、市街地の街区公園を整備
7億1,897万円

北部丘陵整備事業

地域の農業環境や市有農地の利用促進に向けた整備
6,532万円

循環型施設整備・周辺環境整備促進事業

循環型社会の構築に向け、ごみ処理施設を整備
3億5,930万円

路線バス利用促進事業

バスの利便性の向上に向け、バス事業者へ乗り場案内等の整備を支援
2,116万円

地域コミュニティバス運行事業

玉川学園地区南ルートへの運行に向け、道路・バス停等を整備
1億3,050万円

都市計画道路整備事業

都市計画道路や相原駅の駅前広場を整備
8億96万円

鶴川駅周辺街づくり事業

鶴川駅前広場や周辺の土地利用など、鶴川駅周辺整備内容を検討
1,389万円



4つの「まちづくり基本目標」にもとづく事業のほかに取り組む主な事業

私立学校誘致検討事業

団地内の廃校となった学校用地を有効利用し、私立学校を誘致
880万円

胃がんリスク検診(ABC検診)の拡充

胃がん等の予防に向け、ヘリコバクター・ピロリ菌等の検査を実施
1億9,616万円

臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金給付事業

臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金を支給
15億3,589万円

町田市民ホール改修事業

利用者の安全確保や利便性向上に向け、大規模改修工事を実施
5億6,815万円

保育士等処遇改善事業

保育士等の給与改善を支援
1億6,257万円

南町田駅周辺地区拠点整備事業

南町田駅周辺の賑わいの拠点づくりに向け、拠点整備基本方針を策定
2,592万円

小山田周辺まちづくり推進事業

鉄道延伸に伴う新駅構想等を踏まえ、小山田周辺まちづくり構想を策定
1,080万円

雪害復旧支援事業

雪害により被災した農業用施設の撤去・再建を支援
9,411万円

ペDESTリアンデッキ下環境改善事業

町田駅周辺のペDESTリアンデッキ下歩道部分の環境改善整備工事の設計
500万円

- 2014年度の当初予算と6月補正予算を合わせた予算額を掲載しています。
- 複数年度にわたる事業についても、2014年度の予算額のみ掲載しています。
- 各事業の詳細は、冊子「平成26年度(2014年度)予算概要」、「平成26年度(2014年度)6月補正予算概要」でお知らせしています。冊子は市政情報課(市庁舎1階)、各市立図書館でご覧いただけます(町田市ホームページでダウンロードも可)。

未来づくりプロジェクトとは

未来づくりプロジェクトは町田市の都市の魅力を高めるため、町田市が持つ強みと、市民生活をより充実させるための要素を結び、10年を超える長期的な視点に立って進める取り組みです。町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」の推進において先導的な役割を果たす5つのプロジェクトで構成されています。プロジェクトの主な事業は以下をご覧ください(事業名一部再掲)。

1.地域社会づくりを基本とするまちづくりプロジェクト

地域における子育て相談充実事業、(仮称)忠生図書館整備事業、市民協働・地区協議会支援事業、地域高齢者支援事業、忠生市民センター建替事業、コミュニティセンター建替事業

2.町田駅周辺の魅力を向上させるプロジェクト

創業支援・企業誘致推進事業、中心市街地整備事業、文化芸術ホール整備事業

3.団地再生に向けたプロジェクト

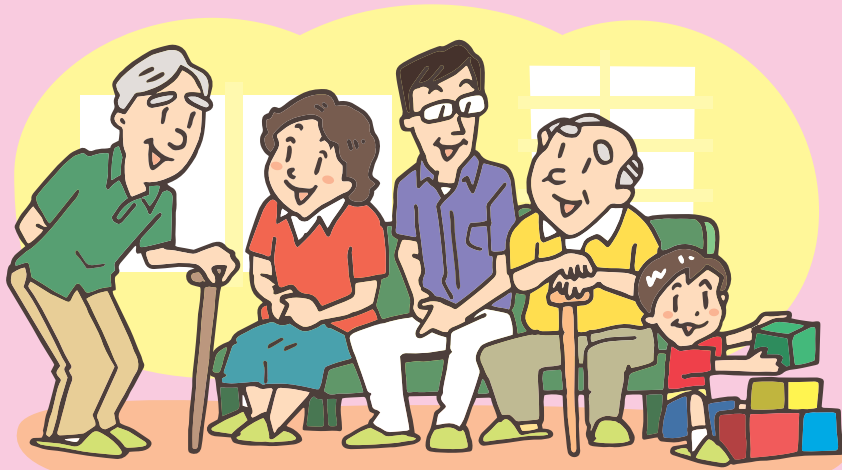
団地再生推進事業、私立学校誘致検討事業

4.みどりを活用したまちづくりを推進するプロジェクト

みどりのまちづくり推進事業、公園整備事業、北部丘陵整備事業

5.基幹交通機能を強化するプロジェクト

路線バス利用促進事業、地域コミュニティバス運行事業、鉄道延伸検討事業



市民一人当たりの予算の使い道

2014年度一般会計予算額を、2014年1月1日現在の町田市の人口(426,222人)で割って算出しました。

市民一人当たりの予算額328,363円のうち、市税でどのくらい負担しているのですか？



市民一人当たりの予算額に対する市税負担額は158,604円で、ほぼ半分を占めています。残りの半分は、国・都支出金(国や東京都から交付される補助金など)99,470円や、市債(借金)18,288円、基金(貯金)の取り崩し11,348円などによってまかなわれています。



市民一人当たり
予算額
328,363円
(前年度比+19,154円)

子どもや障がい者、
高齢者などの
医療・生活支援のため

165,291円
(前年度比+13,437円)

市政の
運営のため
38,156円

道路や公園、区画
整理などのため
28,203円
(前年度比+2,702円)

小・中学校や
文化、スポーツなど
教育のため
34,324円
(前年度比+2,506円)

消防・防災
のため
12,389円

市民の健康や
よりよい
生活環境のため
30,274円
(前年度比+1,464円)

市債の
返済のため
14,397円

その他
5,331円

※円の大きさが市民一人当たりの予算額の大きさを表しています。
※前年度より1,000円以上の増減があったところのみ、前年度比を掲載しています。

医療・生活支援のための予算について



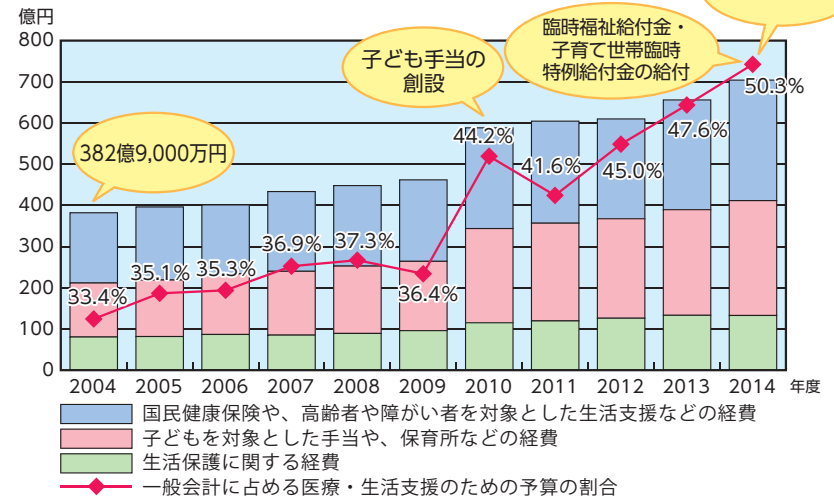
上記「市民一人当たりの予算の使い道」を見ると、子どもや障がい者、高齢者などの医療・生活支援のための予算が市民一人当たりの予算の中で大きな部分を占めていることが分かります。医療・生活支援のための予算の内訳や推移を教えてください。

1面の「一般会計の年間歳入歳出予算」を見ると、2014年度の医療・生活支援のための予算は704億5,000万円で、一般会計予算の50.3%を占めています。そのうち、社会福祉費(国民健康保険や高齢者福祉、障がい者福祉などの経費)が292億5,000万円、児童福祉費(子ども対象の手当や、保育所などの経費)が278億8,000万円、生活保護費が132億8,000万円となっています。

10年前の一般会計に占める医療・生活支援のための決算額の割合は、33.4%でした。2004年度の決算額と2014年度予算額を比較すると、321億6,000万円増加(1.8倍)しています。



医療・生活支援のための経費は、その性質上、国の制度改正(児童手当、障害者自立支援給付費など)や社会経済状況の影響(生活保護費など)を大きく受けるものです。少子高齢化の進展により社会保障関連経費の増加が見込まれるため、今後も医療・生活支援のための予算は増加傾向であると予測しています。



※2004～2012年度は決算額、2013年度及び2014年度は補正後予算額

まちだの台所事情 —貯金(基金積立金)と借金(市債)はどれくらいあるの?—

基金積立金(貯金)の状況

基金積立金は、家計に例えると貯金にあたるものです。「財政調整基金」では、災害復旧など臨時の支出や経済事情の変動などで収入(歳入)が足りない時に取り崩し、逆にお金が出た時には、貯金(積立)して年度間の財源を調整しています。

区 分	2013年度末 現在高	2014年度中増減見込額		2014年度末 現在高見込額 (※)
		当該年度中 積立見込額	当該年度中 取崩見込額	
財政調整基金	63億8,815万円	38万円	36億9,136万円	26億9,717万円
その他特定目的基金	58億659万円	3億8,098万円	15億7,509万円	46億1,247万円
合 計	121億9,474万円	3億8,135万円	52億6,645万円	73億964万円

「その他特定目的基金」は、あらかじめ使い道を決めて積み立てや取り崩しをする基金で、公共施設整備等基金、福祉基金、緑地保全基金、職員退職手当基金、介護保険給付費準備基金、廃棄物減量再資源化等推進整備基金があります。

(※)今後、2013年度の剰余金などを積み立てていくことで、現在高を確保していきます。

市民一人当たりに換算すると・・・ ※人口:426,222人(2014年1月1日現在)

貯金の残高
(2014年度末見込)

17,150円
(前年度比+2,450円)

ローンの残高
(2014年度末見込)

328,353円
(前年度比+4,787円)



市債の残高が、2014年度末で1,400億円もあるなんて、町田市の借金は多くないですか？

一般会計の市債について、市民一人当たりの残高を多摩26市と比較すると、少ないほうから8番目の金額です(2013年度は6番目)。一般会計の市債は、市税をもとに返済していきます。

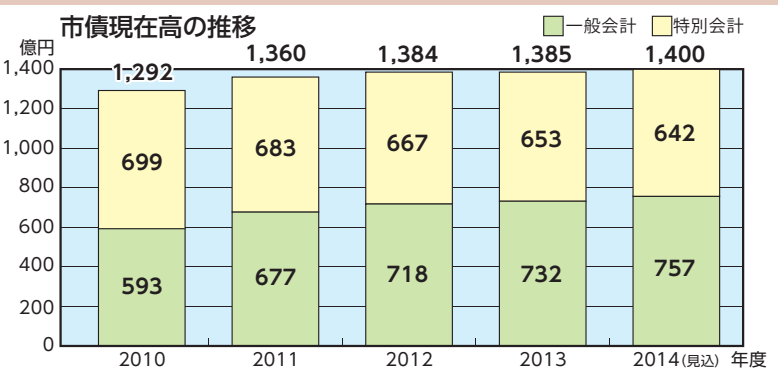


下水道事業と病院事業を合わせた特別会計の642億円については、公立病院や下水道の整備状況が市によって異なるので単純比較は難しいです。特別会計の市債は、医療収益や下水道使用料をもとに返済していきます。

市債(借金)の状況

市債とは、家計に例えるとローンにあたるものです。公共施設などをつくるために必要となる多額の資金を「長期ローン」として借り、将来利用する市民との費用負担を公平にしています。ただし、借金であることには変わりはないので、借り入れには十分気をつけています。

会計区分	2013年度末 現在高	2014年度中増減見込額		2014年度末 現在高見込額
		起債見込額	元金償還見込額	
一般会計	731億5,649万円	77億9,490万円	52億3,848万円	757億1,291万円
下水道事業会計	513億6,039万円	21億5,110万円	25億9,239万円	509億1,909万円
病院事業会計	139億5,410万円	—	6億3,483万円	133億1,927万円
合 計	1,384億7,097万円	99億4,600万円	84億6,571万円	1,399億5,127万円



※四捨五入による端数処理を行っているため、合計と合致しない場合があります。